

1. 志布志港の長期構想とは

志布志港は、九州南東部の太平洋に面した地理的優位性と国内有数の農畜産地域である南九州地域を背後に有し、国内外の物流拠点、飼料供給基地として背後地域の産業・経済を支える重要港湾である。

昭和47年に港湾計画を策定し、直近の平成5年の改訂や、その後の一部変更等により国際的な流通機能の充実を図るべき港湾として位置づけ、整備を進めてきた。

港湾を取り巻く情勢は近年で大きく変化し、取扱貨物における原木の増加や都城志布志道路、東九州自動車道等の交通ネットワークの進展など環境の変化に対応するため、概ね20年から30年先の総合的な港湾空間の形成とあり方について、目指すべき将来像やその実現に向けた空間利用計画、施策などを「志布志港長期構想」としてとりまとめるものである。

志布志港港湾計画(平成5年8月改訂)

【基本方針】

- 国際的な流通機能強化、コンテナ化、貨物量増大等への対応
- クルーズ船に対応する旅客船心頭の整備
- 港湾における諸活動の安全確保、外郭施設の整備
- 遊漁船の適切な収容、小型船だまりの整備
- 緊急避難及び緊急物資輸送確保のための耐震性の高い施設整備
- 港湾背後地域との円滑な交通確保、心頭間の連絡強化
- 快適な港湾空間の確保、緑地等の環境保全施設の整備
- 効率性、安全性、快適性の高い港湾空間の形成

<長期構想>

概ね20~30年先(2050年代)を見据えた港湾空間の形成とそのあり方について検討

<港湾計画の見直し>

概ね10~15年先(2030年代)を目標年次とした港湾計画について検討

2. 志布志港を取り巻く環境の変化

物流・産業	人流・賑わい	安全・安心	環境・エネルギー
<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産物・食品の輸出増加 ・トラックドライバーの労働規制によるモーダルシフトの進展 ・道路交通ネットワーク整備によるアクセス性向上 ・原木等の取扱貨物の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・港における賑わい空間の不足 ・インバウンド需要の回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における港湾機能の持続 ・地震・津波等の自然災害のリスクの増 ・気候変動による影響 ・インフラの老朽化 	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化社会の実現に向けた取組 ・カーボンニュートラルポートの形成 ・景観に配慮した港湾整備

3. 志布志港の課題

- ・平成28年度から令和2年度:今後のあり方に関する勉強会(全6回)
 - ・令和3年度から令和4年度:中長期ビジョンに関する勉強会(全3回)
- 勉強会で抽出された課題



4. 志布志港の基本理念と目指す姿

<基本理念>

地域のポテンシャルと稼ぐ力を引き出す、世界に開かれた“志”あふれる 志布志港

<目指す姿>

【物流・産業】
国内外とつながり、地域の経済と暮らしを支えるみなと

【人流・賑わい】
人と人がつながり、魅力や賑わいにあふれるみなと

【安全・安心】
住民や企業活動の安全・安心を支える強靱なみなと

【環境・エネルギー】
サステナブルな社会の実現をリードする環境にやさしいみなと

5. 志布志港の取組方針と具体施策

志布志港で解決すべき課題に対する目指す姿の実現に向けて、物流・産業、人流・賑わい、安全・安心、環境・エネルギーの各分野において、以下の取組方針と具体施策を設定する。

	物流・産業	人流・賑わい	安全・安心	環境・エネルギー
目指す姿	国内外とつながり、地域の暮らしを支えるみなと	人と人がつながり、魅力や賑わいにあふれるみなと	住民や企業活動の安全・安心を支える強靱なみなと	サステナブルな社会の実現をリードする環境にやさしいみなと
取組方針	<ol style="list-style-type: none"> 1.農林水産物・食品輸出等の需要増大に対応した環境整備 2.モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化 3.穀物の安定的かつ効率的な海上輸送網の形成 4.港の地理的ポテンシャルを活かした臨海部の土地利用 	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成 2.賑わいと活気のある観光振興の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1.大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現 2.津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現 3.既存港湾施設の計画的かつ効率的な維持管理による港湾機能の保持 	<ol style="list-style-type: none"> 1.脱炭素化社会の実現に向けた港湾空間の形成 2.臨海部産業における脱炭素化の実現、次世代エネルギー受入環境の創出 3.地域の魅力や個性を創出する港湾景観の形成
具体施策	<ul style="list-style-type: none"> 国際コンテナターミナルの機能強化 [施策Ⅰ-①] 情報通信技術を活用した港湾のスマート化 [施策Ⅰ-②] 外貿定期コンテナ航路の拡充 [施策Ⅰ-③] バルク貨物(林産品)ターミナルの形成 [施策Ⅰ-④] 次世代高規格ユニットロードターミナルの形成 [施策Ⅰ-⑤] 穀物の安定的かつ効率的な輸入拠点の整備 [施策Ⅰ-⑥] 産業用地の確保と企業立地の促進 [施策Ⅰ-⑦] 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に開かれた緑地公園の拡充 [施策Ⅱ-①] みなとを中心とした交流拠点の創出 [施策Ⅱ-②] クルーズ船の受入環境整備 [施策Ⅱ-③] 魅力的な観光コンテンツの創出 [施策Ⅱ-④] 	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い港湾施設・輸送網の形成 [施策Ⅲ-①] 港湾施設等の整備に必要な不可欠な作業船の係留場所の確保 [施策Ⅲ-②] 原木・コンテナ流出防止対策の推進 [施策Ⅲ-③] 住民等避難体制の構築 [施策Ⅲ-④] 戦略的なインフラマネジメントの推進 [施策Ⅲ-⑤] 	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素化の推進に向けた港湾機能の高度化 [施策Ⅳ-①] 臨海部産業の脱炭素化に貢献する港湾空間の創出 [施策Ⅳ-②] 次世代エネルギーの受入環境の創出 [施策Ⅳ-③] 地域独自の自然や歴史・文化等を活かした景観の形成 [施策Ⅳ-④]

課題・要請

原木輸出需要増大に伴うヤード面積の不足

原木輸出需要増大による蔵置場所の不足



外港地区の原木蔵置の状況

コンテナによる原木輸出の横持ち発生

外港地区でのバンニングによる新若浜地区への横持ち発生



外港地区でのバンニングの様子

コンテナ取扱量の増大によるターミナル面積の不足

コンテナ貨物の取扱量増大によりコンテナ蔵置面積が不足



コンテナ置場の状況

冷蔵・冷凍電源整備の不足

モーダルシフトの進展による冷蔵・冷凍貨物に対応する整備の不足



冷蔵・冷凍電源設備の位置図

フェリー・RORO貨物の需要増大への対応

シャーシプール面積不足によるシャーシ置場と乗船レーンの混在・蔵置場所以外への蔵置



シャーシプールと乗船レーンの混在状況

シャーシ置場以外の蔵置状況

具体施策・取組方針

1. 農林水産物・食品輸出等の需要増大に対応した環境整備

施策 I-① 国際コンテナターミナルの機能強化

・コンテナ蔵置等のための用地不足解消のため、コンテナターミナルの拡張を図る
・農林水産物・食品の輸出拡大のため、既存上屋を改修し冷蔵・冷凍施設等の整備を推進する



機能強化施設のイメージ図

施策 I-② 情報通信技術を活用した港湾のスマート化

・民間事業者間の港湾物流手続を電子化する「Cyber Port」や、ゲート処理及びヤード内荷役作業を効率化する「CONPAS(Container Fast Pass)」等の情報通信技術の活用を図る

施策 I-④ パルク貨物(林産品)ターミナルの形成

・点在する原木ヤードを集約するため、新若浜地区に新たにパルク貨物(林産品)ターミナルの整備を検討する
・持続可能な林産品輸送体制の構築を検討する

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
コンテナターミナルの拡張	→		新若浜地区
冷蔵・冷凍施設等の整備	→		新若浜地区
Cyber Port、CONPAS等の情報通信技術の活用	→		新若浜地区
官民一体となったポートセールス活動等の実施	→		新若浜地区
海上小口混載貨物等の輸送支援の実施	→		新若浜地区
パルク貨物(林産品)ターミナルの整備	→		新若浜地区
持続可能な林産品輸送体制の構築	→		新若浜地区

施策 I-③ 外貿定期コンテナ航路の拡充

・船社や荷主企業、商社等に対し、官民一体となったポートセールス活動やセミナーの開催
・県産品等の海上小口混載貨物輸送等、志布志港の利用促進を図るための支援を実施する

2. モーダルシフトの進展に対応したフェリー・RORO輸送能力の強化

施策 I-⑤ 次世代高規格ユニットロードターミナルの形成

・外港地区にフェリー機能の移転
・新若浜地区にRORO機能の移転
・モーダルシフトを促進する次世代高規格ユニットロードターミナルの形成を図る

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
フェリー機能の移転	→		若浜地区 →外港地区
RORO機能の移転	→		外港地区 →新若浜地区
次世代高規格ユニットロードターミナルの形成	→		外港地区 新若浜地区



次世代高規格ユニットロードターミナルのイメージ図

3. 穀物の安定的かつ効率的な海上輸送網の形成

施策 I-⑥ 穀物の安定的かつ効率的な輸入拠点の整備

・安定的かつ効率的な輸入拠点の形成を図るため、大型穀物船に対応する耐震強化岸壁等の整備を促進する
・企業間連携による共同輸送の実現を図る

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
大型穀物船に対応する耐震強化岸壁等の整備	→		新若浜地区
企業間連携による共同輸送の促進	→		新若浜地区

4. 港の地理的ポテンシャルを活かした臨海部の土地利用

施策 I-⑦ 産業用地の確保と企業立地の促進

・低利用となっている緑地公園を地域のニーズに基づく用途を変更することで新たに企業用地を確保する
・アクセス性の高い企業用地を有効活用し、臨海部への高付加価値産業等の誘致を促進する



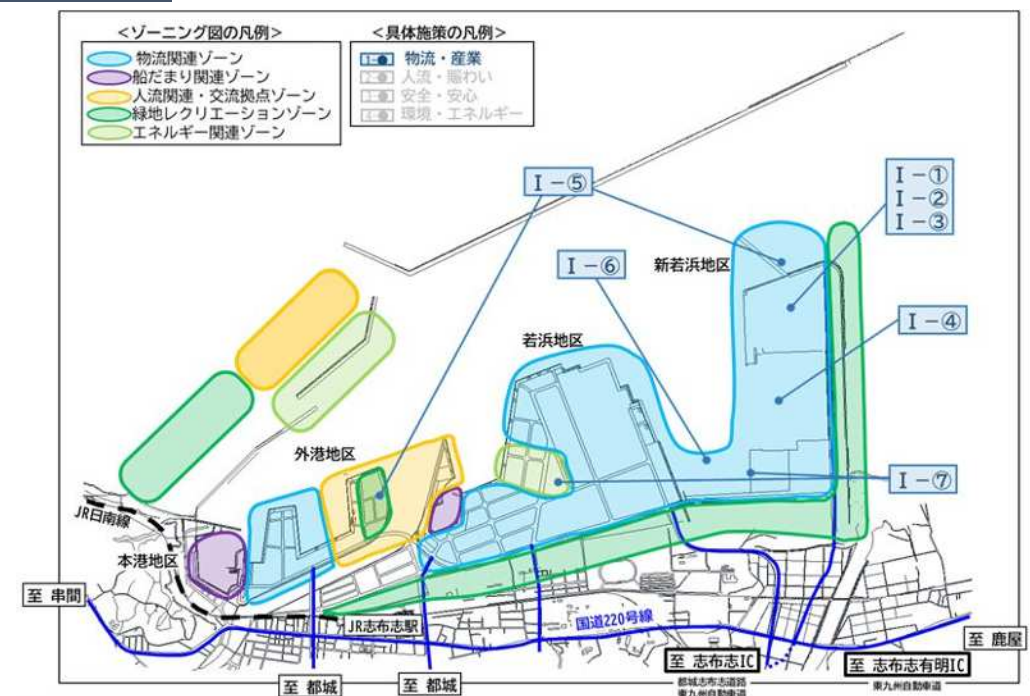
低利用化した緑地公園



産業用地のイメージ図

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
低利用となっている緑地公園の用途変更	→		若浜地区
臨海部への高付加価値産業等の誘致促進	→		新若浜地区

施策の取組箇所



課題・要請

賑わい空間の創出・再構成

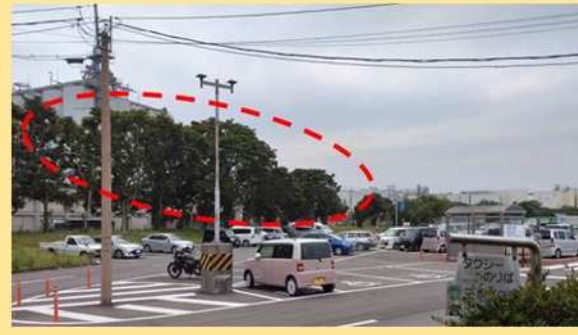
港全体の賑わい空間の不足



港全体の賑わい空間の不足

海の玄関口としての景観配慮

フェリー乗降客が魅力を感じない港の景観整備



フェリーさんふらわあ待合所からの景観

大型クルーズ船への対応

大型船舶の寄港へ対応が困難な岸壁(水深-7.5m)



クルーズ船受入整備の対象エリア

緑地公園の低利用化の解消

工業地帯の隣接・樹木の高木化による公園の利用率低下



低利用の緑地公園の位置図

具体施策・取組方針

1.地域の新たなニーズに対応した賑わい・水辺空間の形成

施策Ⅱ-① 地域に開かれた緑地公園の拡充

・低利用となっている緑地公園を市街地に近接している外港地区に移転し、水辺に面した緑地の配置
・外港地区へのフェリー機能の移転に伴い、フェリーターミナルを核とした賑わい空間の創出を図る
・行政や市民、企業、NPO等の連携・協働による地域活性化に取り組む



水辺に面した緑地のイメージ

施策Ⅱ-② みなとを中心とした交流拠点の創出

・観光客や地域住民が親しめる交流拠点に「みなとオアシス」制度の導入を検討するとともに、これらの機能強化を図る
・「みなと緑地PPP制度」等、民間の資金やノウハウの活用による新たな交流拠点を創出する



みなと緑地PPP制度の概要イメージ



志布志港背後の交流拠点

施策Ⅱ-③ クルーズ船の受入環境整備

・中小型クルーズ船は若浜地区旅客船心頭、大型クルーズ船は外港地区防波堤沖側での受入を図る
・ハード・ソフト両面からクルーズ船の受入環境を整備するとともに、積極的な寄港誘致に努める
・寄港地観光として大隅地域の魅力を楽しめるよう地域資源を活用したツアーメニューの造成に取り組む



志布志市の観光資源・イベント

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
水辺に面した緑地の整備	→	→	外港地区
フェリーターミナルを核とした賑わい空間の創出	→	→	外港地区
行政や市民、企業、NPO等の連携・協働による地域活性化	→	→	外港地区
「みなとオアシス」制度の導入・機能強化	→	→	外港地区
民間力を導入した新たな交流拠点の創出	→	→	外港地区
クルーズ船の受入環境整備・寄港誘致	→	→	若浜地区 外港地区
地域資源を活用したツアーメニューの造成	→	→	外港地区



につぼん丸寄港時の様子

2.賑わいと活気のある観光振興の推進

施策Ⅱ-④ 魅力的な観光コンテンツの創出

・インフラツーリズムやアドベンチャーツーリズム等の体験型観光コンテンツの充実に取り組む
・既存の防波堤等の有効活用や外港地区防波堤沖側の海釣り公園整備等により、観光資源として地域の関係者による地方創生を目的とした釣り文化振興に取り組む



インフラツーリズムの例



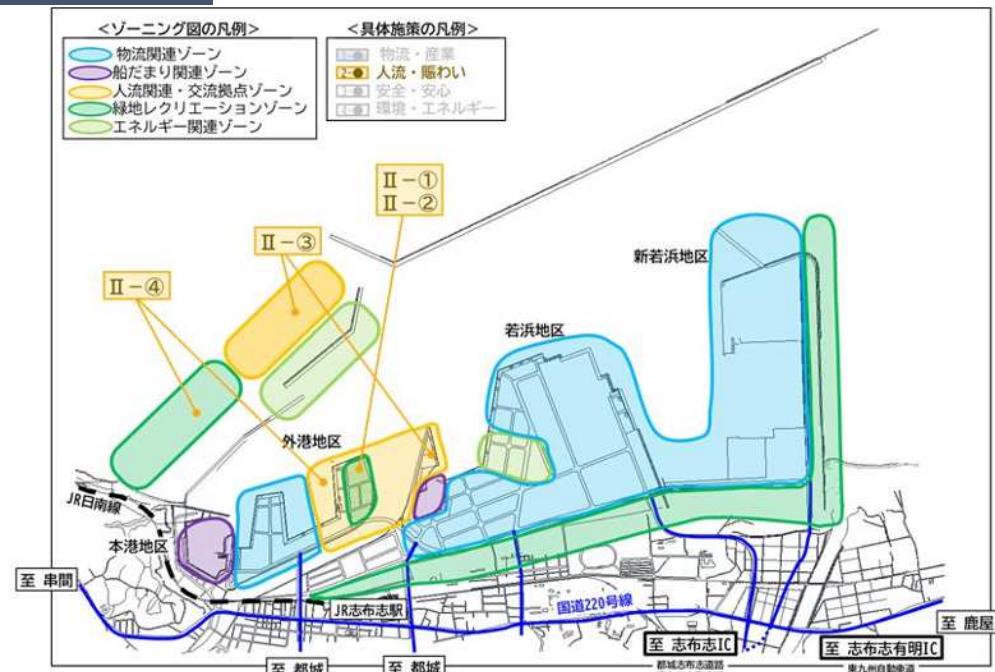
釣り文化振興の例



アドベンチャーツーリズムの例

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
体験型観光コンテンツの充実化	→	→	外港地区
釣り文化振興の推進	→	→	外港地区

施策の取組箇所



課題・要請

原木流出による背後地域への被害

市街地への原木流出による被害リスク

外港地区の原木流出イメージ

志布志市の浸水想定図

20m以上
10m以上 20m未満
5m以上 10m未満
3m以上 5m未満
2m以上 3m未満
1m以上 2m未満
0.3m以上 1.0m未満
0.01m以上 0.3m未満

泊地埋没による航行制限

上流からの土砂流入による泊地埋没・船舶座礁の危険性

土砂流入の位置図

泊地埋没の様子

長周期波による港内静穏度の乱れ

長周期波・うねりにより船舶の接岸が困難となる

長周期波の影響をうける位置

うねりの影響で避泊の様子

台風時の漂流物

水域への流木滞留による港湾機能停止のリスク

漂流物による港湾機能停止イメージ

コンテナ流出による航路閉塞

コンテナの海上流出による航路閉塞の危険性

新若浜地区のコンテナ流出イメージ

具体施策・取組方針

1. 大規模災害時における迅速かつ円滑な応急対策等の実現

施策Ⅲ-① 災害に強い港湾施設・輸送網の形成

・幹線貨物等の輸送拠点としての機能向上を図るため、耐震強化岸壁を整備を促進する
・長周期波による港内水域への影響分析を行い、静穏度向上に向けた対策を検討する

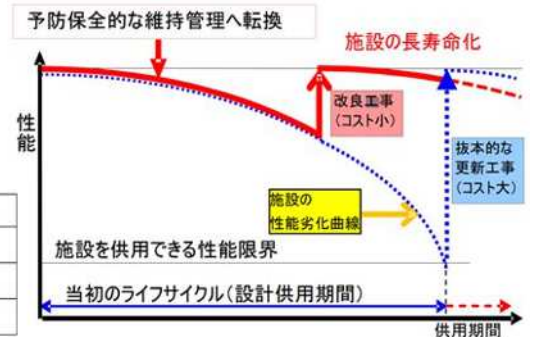
施策Ⅲ-② 港湾施設等の整備に必要な不可欠な作業船の係留場所の確保

・港湾機能の維持、早期回復に必要な作業船の係留場所を外港地区に確保する

施策Ⅲ-⑤ 戦略的なインフラマネジメントの推進

・予防保全計画に基づく計画的な点検、補修、長寿命化対策の実施、新技術の活用
・老朽化や利用状況、地域のニーズに応じた施設の利用転換
・サイバートットの活用による効果的かつ効率的なアセットマネジメント

3. 既存港湾施設の計画的かつ効率的な維持管理による港湾機能の保持



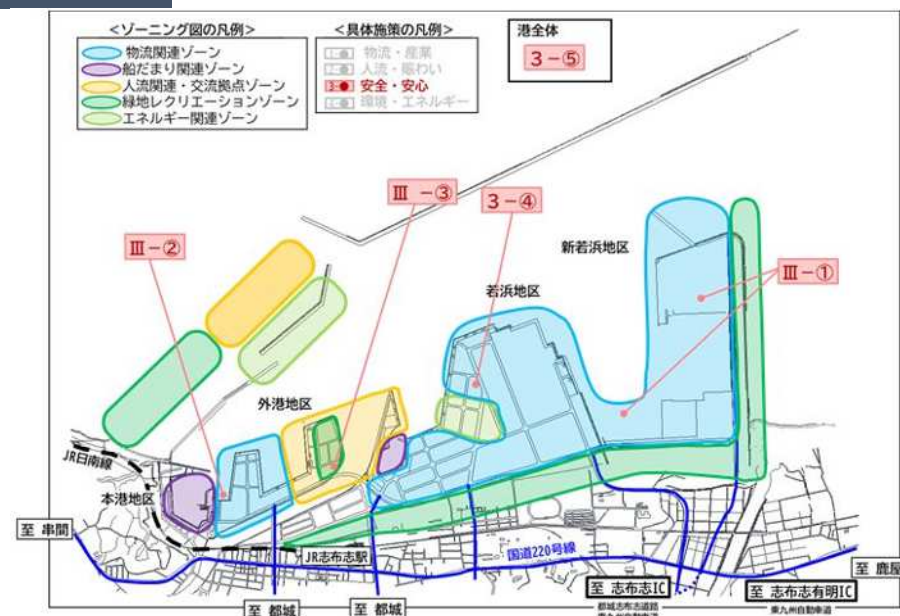
バルク岸壁の耐震強化

コンテナターミナルの耐震強化

施策内容	目標時期			対象地区名
	短期・中期	長期		
幹線貨物等の輸送機能向上を図る耐震強化岸壁の整備	→	→		外港地区、新若浜地区
港湾機能の維持、早期回復に必要な作業船の係留場所の確保	→	→		外港地区

施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
予防保全計画に基づく計画的な点検、補修、長寿命化対策の実施・新技術の活用	→	→	
老朽化や利用状況、地域のニーズに応じた施設の利用転換	→	→	
サイバートットの活用による効果的かつ効率的なアセットマネジメント	→	→	

施策の取組箇所



2. 津波災害時における港湾背後地域等への被害低減対策の実現

施策Ⅲ-③ 原木・コンテナ流出防止対策の推進

・港湾の事業継続計画(港湾BCP)に基づく事前対策、直前予防対応の実施
・原木流出による被害軽減に効果的な流出防止対策を図る
・蔵置コンテナの安全対策の徹底

施策Ⅲ-④ 住民等避難体制の構築

・津波避難施設(新若浜避難施設・若浜避難高台)を整備を
・防災教育、防災訓練、標高表示板の設置等の意識啓発活動の実施
・住民、港湾関係者、来訪者への確実な情報伝達手段の確保

原木流出防止柵の事例

コンテナ流出防止策の事例

短期・中期 → 概ね15年後まで

長期 → 概ね15年後以降

→ : 短・中・長期で取り組む施策

→ : 新規

→ : 継続して取り組む施策

課題・要請

カーボンニュートラルの実現

温室効果ガス排出量の削減のための対策・施策を推進



次世代エネルギーへの転換

太陽光発電・風力発電等の次世代エネルギーの導入推進



カーボンニュートラルポートの形成

港湾における脱炭素化の取組の推進



地域の魅力を活かした景観の形成

海の玄関口としての景観配慮



具体施策・取組方針

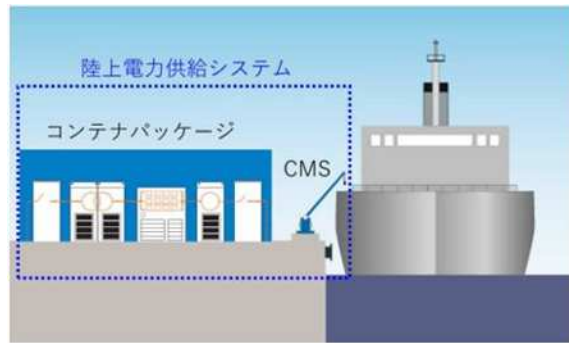
1. 脱炭素化社会の実現に向けた港湾空間の形成

施策IV-① 脱炭素化の推進に向けた港湾機能の高度化

・公共ターミナル内の荷役機械の電化やFC化の導入・促進を図る
・停泊中の船舶への陸上電力供給設備の整備を図る
・公共ターミナルに出入りするトラック等のFC化を促進する環境整備を図る



施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
公共ターミナル内の荷役機械の電化、FC化の導入・促進	→	→	外港地区、若浜地区、新若浜地区
陸上給電設備の整備	→	→	外港地区、若浜地区、新若浜地区
トラック等のFC化を促進する環境整備	→	→	外港地区、若浜地区、新若浜地区



3. 地域の魅力や個性を創出する港湾景観の形成

施策IV-④ 地域独自の自然や歴史・文化等を活かした景観の形成

・外港地区において、志布志湾の景観を一望できる場所に緑地の配置する
・志布志港背後の歴史的遺産を最大限活用する観点から、海へ続く臨港道路沿いに緑地空間を形成する等、景観に配慮した「みなとまちづくり」を図る



施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
志布志湾の景観を一望できる緑地の整備	→	→	外港地区
港湾背後の歴史的遺産の活用による「みなとまちづくり」の推進	→	→	新規

2. 臨海部産業における脱炭素化の実現、次世代エネルギー受入環境の創出

施策IV-② 臨海部産業の脱炭素化に貢献する港湾空間の創出

・水素等の次世代エネルギー関連産業を誘致するため、港湾緑地などの若浜地区の産業集積エリアに隣接する土地の用途を変更する



施策IV-③ 次世代エネルギーの受入環境の創出

・港湾オペレーションや臨海部立地産業等の脱炭素化に必要な次世代エネルギー受入環境の創出を図る(短中期:若浜地区、長期:外港地区防波堤沖側)



施策内容	目標時期		対象地区名
	短期・中期	長期	
次世代エネルギー関連産業の誘致に向けた産業集積エリア周辺土地の用途変更	→	→	若浜地区
次世代エネルギー受入環境の創出	→	→	若浜地区 外港地区

施策の取組箇所

